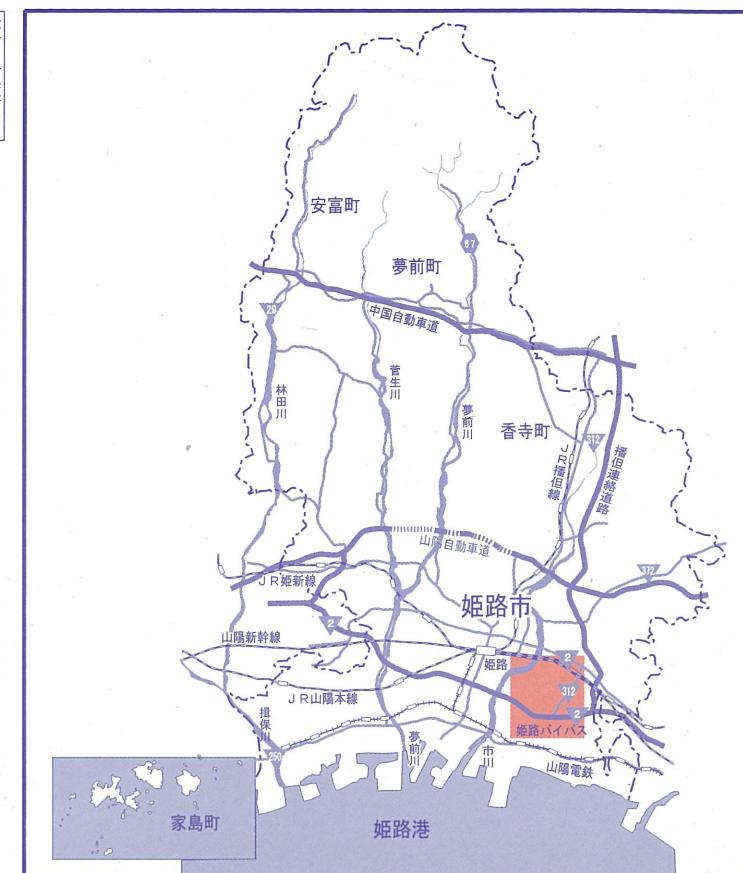


文化財をたずねて 四郷校区めぐり



交通案内

神姫バス 姫路駅前乗り場から見野古墳群（循環）・四郷和光保育所東行き 約一六分、山脇西口バス停下車

起点（神姫バス山脇西口バス停）—（五〇m）—溺死者菩提碑・日本廻国供養塔・神明社・印鑑神社・瑞岩院石仏・山脇道標（五五〇m）—御幸橋（一五〇〇m）—埋蔵文化財センター・宮山古墳・春日神社・月代岡小絵馬（三五〇m）—坂元薬師堂（一一〇〇m）—阿保古墳群（百穴）（一一〇〇m）—見野の郷交流館（三〇〇m）—見野古墳群（一八〇〇m）—新羅神社（八〇〇m）—見野廢寺（一〇〇m）—長塚古墳（三〇〇m）—四郷村道路元標・終点（神姫バス見野古墳群前）（全行程は約一〇・五kmです。）

表紙説明

六号墳は一つの墳丘に二つの横穴式石室をもつ古墳です。このようないし例は、姫路市内では前方後円墳（見野長塚古墳）を除くと確認されていません。石室が二つあることから、地元では「めおと塚」とも呼ばれています。

平成20年3月1日発行 (姫路市教育委員会 姫路市文化財保護協会) 発行
平成23年3月再版

本章では、主に「四郷地区」の歴史と文化財について紹介します。四郷地区は、古墳時代から平安時代にかけて、多くの古墳が分布する地域です。また、近世には、見野廢寺や坂元薬師堂などの古刹が残っています。さらに、現代では、見野古墳群や阿保古墳群などの古墳群が、重要な考古学的・歴史的価値を持つものとして保護されています。

見野古墳群は、見野地区に位置する複数の古墳群で、そのうちの一つである六号墳は、横穴式石室をもつ二室構造の古墳です。また、坂元薬師堂は、平安時代に建立された仏堂で、境内には多くの古墳が散在しています。これらの古跡は、四郷地区の歴史と文化を物語る重要な遺跡です。

見野古墳群は、古墳時代から平安時代にかけて、多くの古墳が分布する地域です。また、近世には、見野廢寺や坂元薬師堂などの古刹が残っています。さらに、現代では、見野古墳群や阿保古墳群などの古墳群が、重要な考古学的・歴史的価値を持つものとして保護されています。

見野古墳群は、古墳時代から平安時代にかけて、多くの古墳が分布する地域です。また、近世には、見野廢寺や坂元薬師堂などの古刹が残っています。さらに、現代では、見野古墳群や阿保古墳群などの古墳群が、重要な考古学的・歴史的価値を持つものとして保護されています。

見野古墳群は、古墳時代から平安時代にかけて、多くの古墳が分布する地域です。また、近世には、見野廢寺や坂元薬師堂などの古刹が残っています。さらに、現代では、見野古墳群や阿保古墳群などの古墳群が、重要な考古学的・歴史的価値を持つものとして保護されています。

見野古墳群は、古墳時代から平安時代にかけて、多くの古墳が分布する地域です。また、近世には、見野廢寺や坂元薬師堂などの古刹が残っています。さらに、現代では、見野古墳群や阿保古墳群などの古墳群が、重要な考古学的・歴史的価値を持つものとして保護されています。

文化財をたずねて

四郷校区めぐり

